

新しい福祉のかたちの  
実現をめざす

# 桑名福祉ヴィレッジ

## 大解剖!



問 秘書広報課 ☎24・1492 FAX 24・1119

今年4月、さまざまな年代・性別の人たちが共に生活する施設としてオープンした「桑名福祉ヴィレッジ」。そこで働くスタッフや利用者の人たちにお話をお伺いしました。



### すまいのエリア

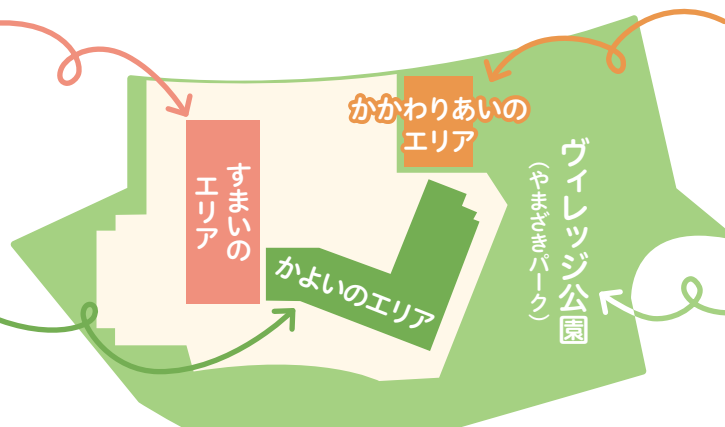
養護老人ホーム/  
母子生活支援施設

設備が充実し、施設が一つになったことによる連携も生まれています。

### かよいのエリア

保育園/生活介護/児童発達支援センター/相談支援センター/ケアプランセンター

子ども、障害のある人など、さまざまな人が交流。



所在地 星川2239-1

・駐車場あり

・K-バス「法務局前」(西部北ルート)から徒歩1分

・三重交通「公団住宅前」から徒歩3分

### かかわりあいのエリア

らいむショップ/  
ヴィレッジセンター

誰でも利用できる交流ラウンジや、食品や日用品などを販売するお店があります。

### ヴィレッジ公園

(やまざきパーク)

既存林を生かした公園には、芝生広場や散策路があります。

- 02 キラリ★くわな人
- 03 **特集** 新しい福祉のかたちの実現をめざす **桑名福祉ヴィレッジ大解剖!**
- 08 7月10日(日)は参議院議員通常選挙の投票予定日
- 09 粗大ごみ「インターネット受付」はじまります
- 10 「太陽光パネル・蓄電池」の共同購入の参加者募集
- 11 知っていますか? 学校のこと Vol.1
- 12 子育て広場  
図書館・六華苑・博物館
- 14 メディカルニュース  
くわな防災教室
- 15 かんたん旬レシピ  
みんなの掲示板

- 16 EVENT ALBUM(イベントアルバム)
- 18 くわなINFO
- 26 無料相談
- 27 ゼロカーボンシティ取りくみレポート  
市長まちなか探索
- 28 HAPPY BIRTHDAY  
桑名のイトコ教えてください。

### 今月の表紙

桑名福祉ヴィレッジのらいむの丘保育園の園庭で、園児と養護老人ホームの入所者が手遊び歌を楽しんでいる様子です。  
※撮影時のみマスクを外しています



## キラリ★くわな人



ヴィアティン三重(サッカー)のりたか  
藤澤 典隆さん

県内初のJリーグチームをめざすJFL所属のヴィアティン三重に、今シーズンから桑名市出身の選手が加入しました。藤澤選手は大山田SSSでサッカーを始め、中学生の頃には日本選抜にも選出。その後はサンフレッチェ広島ユースに入り、関西大学では主将を務め全国優勝を果たしました。Jリーグのチームなどでプロとして活躍した後、18年ぶりに地元である桑名へ戻ってきました。「地元チームであるヴィアティン三重でプレーしたい」とい

「自分がボールを持つことで、試合を組み立て、チャンスを作りたい」と、今後の活躍に注目です!

「このチームでJリーグに昇格し、三重のサッカーを盛り上げたい。子どもたちに夢を見せたい」と力強く語ってくれました。持ち味は、「技術」と一言。技術は誰にも負けない自信があるとも話してくれました。

今シーズンの目標を尋ねると、「このチームでJリーグに昇格し、三重のサッカーを盛り上げたい。子どもたちに夢を見せたい」と力強く語ってくれました。持ち味は、「技術」と一言。技術は誰にも負けない自信があるとも話してくれました。





# 桑名福祉ヴィレッジが “新しい”と言われる理由

養護老人ホームや保育園などさまざまな施設を集約し、誰もが利用できる公園を併設する桑名福祉ヴィレッジ。福祉の課題解決につながる新しい取り組みとして全国から注目されています。「新しい」と言われる理由を中川総センター長に伺いました。



多世代共生施設らいむの丘 総センター長 中川 義文 さん

多世代共生施設らいむの丘内の7施設を取りまとめる総センター長。児童発達支援センター長を兼務。

みんながお互いを助け合う  
人間社会の本来の姿に

地域全体で福祉を考える  
きっかけに

どんな立場の人も生活に関する困りごとを相談できて、お互いを助け合うことをめざしたのが「桑名福祉ヴィレッジ」です。今は個の時代と言われますが、個人では解決できないことも多々あります。ここでは、互いに協力し助け合いながら過ごすことができます。子ども同士の交流にとどまらず、世代や立場、境遇を越えた交流などが生まれることを期待しています。

桑名福祉ヴィレッジは、福祉の現場で課題となっていたこと、これからの時代に必要とされることなどを凝縮した施設です。全国各地から、これからの福祉のあり方の一つとして注目されています。地域住民の人からもさまざまな声をかけていただけており、好意的に接していただけています。今後は事業所内だけでなく、地域を巻き込んだ活動をしていきたいですね。



「誰もが気軽に相談できる場所を作るのは長年の夢だった」と語る中川さん。

- 世代や立場を超えた人の交流が生まれる場所に
- 福祉を自分ごととしてとらえるきっかけとなる場所に
- 互いに協力し、助け合う社会に

## らいむの丘保育園

### いろいろな立場の人と自然に

#### いろいろな人との交流が 子どもの成長のプラスに

高齢者や障害者、外国人など、世の中にいろいろな立場の人がいるということ、子どものうちから知ること、はととも大切です。まずは知ることがスタートだと思うので、今後は施設間の交流の中で一緒に遊んだり、季節の行事などを行ったりしたいですね。児童発達支援センターと同じ建物内にあることで、ちょっと気になることを気軽に専門のスタッフに相談できるのは保育士としてもありがたいです。



#### 子どもの成長を細やかに 見てくれるのを感じます

保護者の古川さん

保育園の先生が本当に子どもに愛情を注いでくれているのが分かるので、安心してお任せできます。子どもも保育園へ通うのが楽しみのようで、休日も行きたがるほど。児童発達支援センターへも通っていることで、送迎の負担が減ることや内部で連携してくれるのもありがたいですね。高齢者や障害者など、家庭では接することのない人のことを保育園で自然に知れるのも良いことだと思います。



保育士  
ひまわり  
上田 向日葵 さん

## 児童発達支援センターらいむの丘

### 保育園併設でさらに通いやすく

#### 専門職スタッフが増え 訓練用の個室も増えました

#### 保育士や専門職の人も増え 安心感があります

登録児童は100人を超え、スタッフは30人ほどが在籍しています。療育センターの時と比べて、部屋数が増えたことで訓練などの時間を増やしたいという保護者のニーズに応えられるようになりました。専門のスタッフも多く在籍しているので、気軽に相談できるのもメリツトに感じています。ゆくゆくは1階の保育園との交流保育など、子どもたちに人との関わりを体験してほしいと考えています。

利用者の保護者  
Iさん・Kさん

以前に通っていた療育センターの時と比べて、きれいになって部屋数も増え、子どももワクワクしながら通っています。身体や言語、情緒など、それぞれ専門の人に見てもらえるので保護者としては安心です。さらに、保育園の子どもたちと交流することで、子どものうちからいろいろな人と接することができるのは、子どもの成長にとっても良い影響があるのではと期待しています。今後は、センターでの活動の内容や子どもたちの様子を書面で報告してもらえると、後から見返すことができありがたいと思います。



保育士  
ちさと  
豊田 千里 さん



# 誰もが居心地の良い場所へ



主任生活相談員 小川 敦 さん

## 他施設と連携して より広いサービス提供へ

廊下や手洗い場が広くなり、職員  
の動線がスムーズになりました。1  
階の食堂と、保育園の遊戯室は窓と  
通路を挟んで向かい合っているの  
で、子どもの遊ぶ姿も見られます。  
園庭で遊ぶ子どもの声を聞くと元  
気になるという入所者さんもいて、

激になっているようです。母子  
生活支援施設の入所者さん  
に対し、給食提供などもできる  
ようになり、これからの一つにな  
ったメリットを感じてもらえる  
ような支援をしていきたいと  
考えています。



西岡 さん

季節行事をやり  
たいです



大屋 さん

子どもの声を聞く  
と元気になります



秋山 さん

子どもはかわい  
いですね

# 敷地内を自由に移動してリフレッシュ



## 明るく広々とした室内で リハビリに励んでいます

ワンフロアになったことで職員が  
無駄な動きをすることがなくなり、  
職員全員が利用者全員を見守りや  
すくなりました。また、スペースも  
広くなったので利用者一人ひとりの  
装具や椅子を置いておけるように。  
また、明るく風通しのよい建物にな

り、心地よく過ごせます。利用者さん  
はリハビリをしたり散歩をしたりと  
いろいろな過ごし方をしていますが、  
今後は外出レクや季節を感じるおや  
つ作りなどをしていきたいと考えて  
います。



センター長  
丹羽 治子 さん

## ヴィレッジ公園

# 誰でも利用できます



建物を囲むように設けられたヴィレッジ公園は、  
程よい傾斜のある遊歩道が整備されています。ベ  
ンチなどの休憩スペースもあり、近隣住民にとっ  
ても散歩コースに。施設利用者のみならず、誰も  
が利用できます。

## らいむショップ

# 食品や日用品が充実



生協(コープ)の商品をはじめ、市内の障害福  
祉サービス事業所の焼菓子や雑貨類を購入する  
ことができます。施設利用者をはじめ、近隣住民  
からも「近くで食品や日用品が買えて便利」との  
声がおにぎりやパンの販売も行っているため、ヴィ  
レッジ公園でランチといった使い方もできます。

## ヴィレッジセンター

# 人々の交流が生まれる

誰もが気軽に利用できるヴィレッジセンターは、  
近隣地域の自治会や民生委員などが地域交流の  
場として、また地域のサークル活動の会場として  
も利用されています。1階は自由に出入りでき  
る交流ラウンジがあり、4人掛けテーブルやカウ  
ンター席も。無料公共Wi-Fiも整備されて  
います。2階は大小2つの会議室があり、予約制  
でも利用できます。また、桑名福祉ヴィレッ  
ジ内の各事業所に対し、地域住民から「何かお手  
伝いできることはないか」「一緒に地域のイベント  
を開催したい」といった働きかけがあり、交流が  
生まれています。



1階にあるテーブル類は「桑名竹取プロジェクト」による竹材が使用されています。



2階は地域交流の場としてさまざまな活動に使用されています。